

特定非営利活動法人トムトム

令和5年度

事業報告(案)

社外秘

※関係者以外閲覧禁止

法人全体

1、基本理念

ハンディのある方とご家族が地域の暮らしの中でノーマライゼーションを実現するためには、利用者が選択できる豊かなサービスが必要です。トムトムはパーソナルサービスを提供するシステムの中で、年齢やその障がいの種別にかかわらず、利用者主体のサービスの確立をめざします。

2、運営方針

- (1) 利用者本人を主体とした個人の生活、活動の場と支援体制の充実。
- (2) 利用者の権利擁護とサービスの向上を目指して、事故と虐待を防止し、権利擁護推進のための活動をすすめる。
- (3) 地域の関係団体や施設等と連携、地域福祉のネットワークづくり。
- (4) 職員の資質向上を目的とした研修や人事評価制度見直し。
- (5) 安定したサービスが提供できるよう、労働条件、職場環境等の整備。
- (6) 適切な財務管理と会計処理に努め、信頼性の高い効果的、効率的な経営体制を目指す。

3、重点課題

- (1) 安心できるより良いサービス提供の実現
 - ① 本人を尊重した個別支援計画の作成
 - ② 本人を主体とした実践の振り返り
- (2) 新型コロナウイルス感染症予防と対策
 - ① 国から感染対策の緩和が打ち出されたが、我々は福祉事業者である以上、引き続き感染対策に努める。
 - ② 利用者や職員に万が一、新型コロナウイルス感染症が発生した場合の対応について、事態に迅速に対処するために、あらかじめ作成した対応マニュアルに沿って法人本部が指揮を執り、関係機関等と連携対応する。
- (3) 安定した運営の実現
 - ① 法人内事業所間の情報共有と連携体制の強化
 - ② 人事制度に伴うキャリアアップ制度の運用と見直し
 - ③ 人材育成のための職員研修の実施
- (4) 事業展開と今後の見直し
 - ① 就労支援事業の作業に伴う他法人との連携と、体制の強化
 - ② 就労支援事業の見直し

4、 会議行事等(総会・理事会等)

会議名	種別	開催日	内容
監査	定時	令和5年5月22日	令和4年度事業に係る理事の業務執行状況及び法人の財産の状況の監査
理事会	第1回	令和5年5月31日	①令和4年度事業報告 ②令和4年度決算報告及び監事監査報告
総会	定時	令和5年5月31日	①令和4年度事業報告 ②令和4年度決算報告及び監事監査報告 ③令和5年度事業計画 ④令和5年度予算
理事会	第2回	令和5年11月27日	①令和5年度上半期事業報告 ②令和5年度上半期決算報告 ③規程改定
臨時理事会(書面表決)	第3回	令和5年12月19日	①とむ郎(茅ヶ崎市香川4丁目21番地12号)の土地・建物購入の件
理事会	第4回	令和6年3月27日	①令和6年度事業計画 ②令和6年度予算 ③規程改定

5、 会員

正会員33名、賛助会員35件

6、 事業運営

事業所名	所在地	事業種別	事業(サービス)名	サービス提供地域
本部	西真土		法人本部業務,総務(経理・労務・庶務)	
トムトム相談室	南原		計画相談支援,障がい児相談支援	茅ヶ崎市 平塚市
茅ヶ崎支部	あいあいクラブ	障害福祉サービス	放課後等デイサービス	茅ヶ崎市 寒川町
	からんころん		生活介護	
	とむ郎		共同生活援助	
	モンキーポッド		茅ヶ崎市日中一時支援	
平塚支部	えぼつくハウス	自由契約	生活介護	平塚市
	やなぎこんぶ		就労継続支援B型	
	キャロット工房		平塚市日中一時支援	
	えぼハウ		放課後等デイサービス	
	ゆうゆうクラブ		移動支援	
ぶんぶん	南原	個別支援(パーソナル)		

7、施設管理業務

(1) 建物の状況

No	所在地	床面積	事業所
1	平塚市南原2-4-5 マイズビル1階	206.25 m ²	ぶんぶん,えぼっくハウス,トムトム相談室
2	平塚市南原2-4-5 マイズビル403号室	41.25 m ²	
3	茅ヶ崎市香川4-21-12	148.65 m ²	とむ郎
4	平塚市中原2-6-63	101.84 m ²	やなぎこんぶ
5	平塚市西真土1-7-62	126.37 m ²	キャロット工房
6	平塚市西真土1-7-56	130.00 m ²	グリーン工房,本部
7	平塚市城所1382	162.47 m ²	アンヌ
8	平塚市御殿1-7-6	118.38 m ²	ゆうゆうクラブ
9	茅ヶ崎市萩園2336-2	198.74 m ²	からんころん
10	平塚市御殿1-33-21	59.52 m ²	えぼハウ
11	茅ヶ崎市萩園1602	198.74 m ²	あいあいクラブ,モンキーポッド

(2) 駐車場の状況

No	所在地	台数	No	所在地	台数
1	茅ヶ崎市萩園1624	10 台	11	平塚市南原2-4-7	5 台
2	茅ヶ崎市萩園2336-1	14 台	12	平塚市南原2-4-9	5 台
3	茅ヶ崎市香川4-400-1	3 台	13	平塚市南原2-192-2	1 台
4	平塚市御殿1-7-17	4 台	14	平塚市西真土1-1512-1	5 台
5	平塚市御殿1-23-3	2 台	15	平塚市西真土1-1521-1	4 台
6	平塚市御殿1-1111-4	2 台	16	平塚市西真土1-1512-3	1 台
7	平塚市御殿1-112-3	8 台	17	平塚市西真土1-1421-1	3 台
8	平塚市南原2-3-11	1 台			
9	平塚市南原2-8-14	5 台			
10	平塚市南原2-2-13	3 台			
合 計					76 台

(3) 法人所有車両

事業所	車両	事業所	車両
本部	1 台	やなぎこんぶ	1 台
あいあいクラブ	3 台	キャロット工房	6 台
モンキーポッド	3 台	ゆうゆうクラブ	3 台
とむ郎	1 台	からんころん	4 台
えぼっくハウス	10 台		
合計			32 台

(4) 什器備品・リース

No	主な備品資産	台数
1	SAORI織機	3
2	リヤカー	1
3	パソコン	17

No	リース契約	台数
1	はちろう君(成型機)	1
2	まぜろう君(攪拌機)	1
3	オフィス電話	25
4	複合機	6
5	プリンター	1
6	サーバー	2
7	パソコン	27
8	給与・人事奉行(ソフトウェア)	1
9	おりこうブログ(ソフトウェア)	1
10	MIRAIZ(ソフトウェア)	2
11	ヴォクシー(車両)	1

(5) 主なITソフト

No	種類	ソフト名
1	給与	OBC 給与奉行 給与計算ソフト
2	会計	TKC 会計ソフト
3	介護請求	真 障害者自立支援法対応 介護派遣コーディネイトシステム
4	介護請求	ミスヘルパー請求システム
5	管理	ミスヘルパー預り金管理システム
6	グループウェア(*)	サイボウズ
7	人事	OBC 人事奉行 人事管理ソフト
8	労務	OBC 就業奉行 勤怠管理ソフト

*組織内の情報共有のためのシステムソフト

8、 職員体制

令和6年3月末時点

	部長	課長	主任	リーダー	一般職	看護師	合計
常勤	2	4	3	4	17		30
嘱託					2		2
非常勤					66	3	69
アルバイト					1		1
合計	2	4	3	4	86	3	102

※組織図別紙1参照

9、 職員研修

研修名	開催日	内容
法人全体研修	6月3日	ドキュメンタリー映画「ちづる」の鑑賞とグループワーク
常勤会議研修	7月12日	「職場におけるハラスメント どうやって防ぐ？」 講師: 社会保険労務士 山本奈央氏
	9月21日	厚生労働省「こころの耳」動画視聴 生活習慣と睡眠からはじめるセルフケア 呼吸法(リラクゼーション) 女性労働者自身のメンタルヘルスケア
	10月18日	ビデオ視聴「教えて中山さん！」行動障がいの事例集と改善テクニック
	12月13日	ビデオ視聴「成人期ダウン症のケアって？～ダウン症の日2023対談」

研修名	開催日	内容
常勤会議研修	1月17日	「今年の抱負を漢字1文字で発表」
法人全体研修	3月9日	強度行動障がいの支援で大切にしたいアプローチ/視点について 講師:松永 徹

10、内部会議の開催

会議名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
幹部会議	0	1	0	0	0	0	0	2	1	0	1	3
常勤全体会議	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1
会計会議	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1
労務会議	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1
BCP業務継続支援計画策定会議	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1

11、職員の福利厚生

- (1) 健康診断費用の助成(常勤職員と社会保険加入の非常勤職員が対象)
- (2) インフルエンザ予防接種費用の助成
- (3) 新人歓迎会・職員親睦会等の費用の助成→6月実施済

12、役員数

理事5名、監事1名

13、苦情処理

なし

14、総括

(1) 安心できるより良いサービス提供の実現

本年も各事業所において、個別支援計画に則り、ご本人とご家族等と面談を行い、実践の振り返りと個人の生活面や日中活動の支援について取り組みを行った。

(2) 新型コロナウイルス感染症予防と対策

法人内での感染者数は、前年度に比べると減少したものの、昨年同様、8月にクラスターが発生してしまい、1事業所が1週間ほど閉所した。下半期はやはりコロナやインフルエンザが流行ったことで休みが増え、いくつかの事業所で利用者数が減少した月があった。

(3) 安定した運営の実現

当初、全体の予算立てでは、電気代やガソリン代の物価高騰を予測して2～3割ほど多く計上していたのだが、国の緩和措置によって、通年並みであった。しかしそれ以外の食材や備品費などは徐々に値上っており、法人努力として毎年、賃金のベースアップを行っているが、世間の物価高騰の影響は大きく、職員達の安定した生活を目指すことが難しくなっている。

(4) 事業展開と今後の見通し

依然として就労支援事業の赤字が続いており、かねてから課題である事業体としての見直しを具体化し、令和6年度中の事業体の変更を目指す。

IT委員会

1、 目的

IT環境整備の観点から職員のパソコン等のスキル向上を目指すとともに、職員間、事業所間の情報共有やファイル管理について、法人全体の管理統制システムの強化を目指す。

ITシステムを上手に活用して、請求システム、ファイル保管、ファイル管理の保守強化等、業務効率化を目指す。

2、 重点課題

- ① 昨年度から導入した勤怠クラウド管理システム、シフト管理ソフト等の運用について、意見交換しながら課題点を見つけ、スムーズに業務が行えるよう、策を講じる。
- ② サーバーの入替えによる全体のデータ管理の構築と、セキュリティ強化。
- ③ 法人内のIT環境を円滑に機能させるため、パソコンを使用する職員に対し、スキルアップのための研修等を開催。

3、 総括

リモート会議が業務上定着する中で課題となっていた、使用が難しい古いパソコンの入替、ネットワーク機器の更新、及び信頼性の高いNAS導入や奉行サーバーの入替を行った。また今までIT整備が完全でなかったキャロット工房のネットワーク環境整備が完了した。

後半は職員のIT基礎教育として、情報漏えいのリスクに関する動画を職員全体で視聴し、情報管理意識向上を図った。また、各パソコンへのウィルス侵入を防ぐ目的で未承認のUSBメモリを挿入しても使用できないように設定した。

来年度は職員が社内ITで困っていることや要望を確認し、職員への研修などを検討していく。

安全委員会

1、 目的

労働安全衛生法に基づき、安全委員会において、労働者の危険防止に対する対策や労働災害の原因および再発防止対策で安全に係るものに関することについて十分な調査審議を行う。

2、 重点課題

- ① 防災備蓄品は火災、地震、風水害などの災害を想定し、各事業所で随時確認を行い、効率よく無駄のないよう備えを行う。
- ② ひやりはっと・事故報告の内容をまとめ、分析したものを提示することで、今後の事故防止につなげていく。
- ③ 導入されたAEDを有効に活用するため全職員に向けた研修を行い、基本的な操作方法を身に着ける。必要に応じて各事業所への設置も検討する。

3、 総括

① 防災備蓄品について

各事業所ごとに在庫の確認と不足分の購入を行った。在庫の管理をしていない職員も、在庫の種類や保管場所を把握できるようにしたい。在庫のチェックは適時行い、作成が義務化されたBCPの備蓄品リストにしっかりと反映させていきたい。

② AED救命講習について

今年度の講習は各自AEDの使用方法動画を視聴する形となった。次年度は講師に来てもらい、実際にAEDを動かす講習を行いたい。なるべく多くの職員が参加できるよう講習の場所や時間を工夫したい。

③ 避難訓練について

各事業所予定通り行うことができた。報告書の提出だけでなく、詳しい訓練の様子や反省点を改善できたかなどを発表する場を設けて情報共有することが有効だと思われる。

④ 緊急メールの運用について

各事業所からテストメールを配信した。未開封の方に対しては電話や面談時などをお願いをしていく。

安全委員会(車両)

1、目的

法人所有車両の増加に伴い、事業所毎に管理担当者を選任するとともに、安全に運行、運転を行うための研修・情報共有・啓発活動を行い、車両事故ゼロを目指す。

2、重点課題

- ① どういう事故が起きているのか多発しているか、何故起きるのかなど事故の内容・頻度・要因の傾向を分析し、結果を全事業所へフィードバックすることで再発防止に努める。
- ② 法人内における啓発活動。安全運転講習の実施。
- ③ 運転前アルコール検査実施の徹底。実施状況の把握と点検。

3、総括

- ① 自動車学校に於ける「安全運転技能講習」や警察署より講師を招いた「交通安全講習会」を実施したことで、受講した職員は「事故を未然に防ぐ運転技術、安全で安心できる運転マナー」を学び、非常に有意義な講習となった。
- ② 毎月の常勤会議のなかで、車両関係のヒヤリはっと・事故報告を常勤職員皆で共有することにより、再発防止に努める意識を高めることができた。
- ③ 運転前アルコール検査・車両点検を各事業所にて実施してきた。今後も継続して実施していくとともに実施状況の把握のため、記録票の回収に努めなければならない。

衛生委員会

1、目的

労働安全衛生法に基づき、衛生委員会において、労働者の健康障害防止や健康促進のための対策について十分な調査審議を行う。

2、重点課題

- ① 感染症予防対策に関する啓発活動の実施。
- ② 安全且つ衛生的に活動する為に、各事業所の建物及び設備・備品等の確認をする安全衛生パトロールの実施。
- ③ 職員の生活習慣病予防・ストレス予防の対策の検討・実施。

3、総括

- ① 安全パトロールについては引き続き感染症予防のため各事業所にてセルフチェックを依頼し全事業所より報告書が提出された。問題点は早急に改善し対処していく。
- ② 職員のメンタルヘルスサポートとして、動画視聴にて啓発活動を進めた。
- ③ 生活習慣病啓発活動として、啓発ポスターの掲示や体の健康に関する自主点検が出来るサイトの案内をした。

広報委員会

1、目的

広報誌・WEBサイト等を最大限活用、法人のPR効果の向上、賛助会員の拡大につなげる。

2、重点課題

- ① 法人の活動内容が外部へ伝わるよう、内容の充実を図る。
- ② 法人の利用者獲得、職員確保に繋がるような、定期的なホームページの更新。
- ③ パソコン操作、ソフト編集技術を含め、職員のスキルアップを図り、担当職員の事務軽減と効率化につなげる。

3、総括

- ① 定期的に広報紙を発行し、法人の活動内容の周知に努めた。記事内容は、前年度のものを踏襲しつつ、活動写真を多く取り入れ充実を図った。
- ② ホームページの更新に関しては、委員会内では取り組めておらず、今後の課題となっている。
- ③ 限られた時間の中ではあったが、業務を分担することで各自のスキルアップを図った。各委員会メンバーの委員会業務に取り組める時間や労力に差があり、適正な業務量の把握が必要であった。

研修・権利擁護委員会

1、目的

- ① 研修 法人内外の研修を通じて職員を育成して仕事に対する意欲を引き出し、事業を効果的、効率的に進め、継続できる法人基盤を作っていくためのサポートを行う。
- ② 権利擁護 障がい者虐待の現状や障がい者の置かれている社会的環境を知り、障害者虐待防止法の理念や権利擁護の仕組みについて考え、障がいのある人がその人らしい生活を送るためにはどのようなことが必要であるか、職員個々の意識高揚を図る取り組みを行う。

2、重点課題

- ① 職員一人ひとりが、権利擁護への高い意識を保つよう、権利擁護に関する研修を繰り返し計画したい。
- ② 日々の現場へフィードバックできる、支援スキル、支援への心構え取得を目的とした研修を計画したい。
- ③ 法人職員としての自覚を持つことはもちろんのこと、一人の国民としての法令遵守、社会規範を身につける意識を確認する内容の研修を計画したい。
- ④ 座学の研修ばかりでなく、職員同士のコミュニケーションを図る内容の企画を考えていきたい。

3、総括

WEB研修と年2回の対面による職員全体研修を行った。6月は、ドキュメンタリー映画「ちづる」を視聴。支援員として普段は知る機会がない家族の日常を目の当たりにし、各々強く感じ考える内容となっていた。3月「本人中心支援のあり方を考える/強度行動障害の視点から」研修では、行動障がいへのアプローチ方法について複数の理論を通し理解を深めることが出来る内容となった。

他には「職場でのハラスメント研修」「一文字抱負」「支援スキル向上としての動画視聴」など幅広い内容の研修を通し、重点課題に沿った取り組みができた。

本部総務部(平塚市西真土1-7-56)

1、目的

法人全体の運營業務が円滑に進むように環境整備する。

2、業務内容

労務業務 人事、給与他

管理業務 法人設備、修繕、契約書の管理、固定資産管理他

庶務業務 公的文書の作成・届出・法務関係手続き他

経理業務 会計処理、請求書の支払い業務、納税、補助金の申請他

管財業務 車両管理、リース管理、保険管理他

請求業務 未収金請求、障がい福祉関係の請求他

本部業務 総会・理事会に係る業務、事務所申請他

3、職員体制

常勤職員4名(事業部長1名、総務部長1名、総務課長1名、一般職員1名)

非常勤職員3名

4、会議・研修

(1)内部会議

会議名	開催日	内容
総務会議	4月4日	日程などの情報確認、部内検討事項の審議
	5月8日	
	6月5日	
	7月4日	
	8月3日	
	9月7日	
	10月3日	
	11月6日	
	12月5日	
	1月9日	
	2月5日	
	3月5日	

(2)外部研修

研修名	開催日	内容
日本NPOセンター研修	5月25日	NPO/NGOの組織基盤強化のためのワークショップ2023
株式会社プライムコンサルタント夏季定例研究会	6月9日	人材不足・賃上げ時代到来!「思い込み」で取り残されないための賃金・評価制度
令和5年度第1回神奈川県指定障害福祉サービス事業者等指導講習会	6月14日	障がい福祉サービス等の適正な事業実施に向けて指導講習会

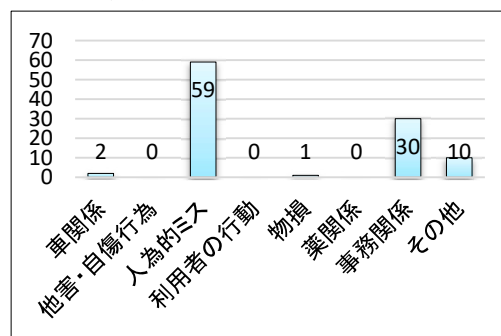
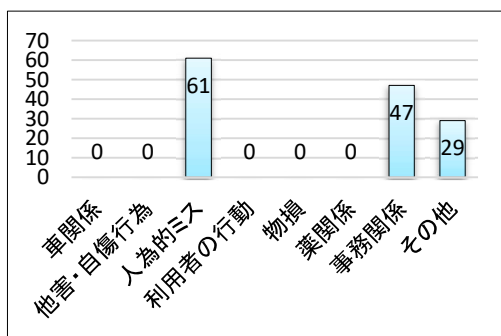
研修名	開催日	内容
業務継続計画 (BCP) 策定研修	6月28日	障がい者支援施設等感染防止対策支援事業業務継続計画 (BCP) 策定について
セミナー	7月11日	インボイス&電子帳簿保存法 2023年に取り組みが必要な「3つのポイント」 これで解決！電子帳簿保存法 最新動向を踏まえた具体策
	7月13日	ペーパーレスの進め方と解決策10選のご紹介／DocuWorksを活用するだけでDX推進を実現
	7月19日	最新テクノロジーデジタルツインからChatGPTまで
	7月20日	インボイス対応の「落とし穴」知っておきたい実務の変更点とその対策
業務継続計画 (BCP) 策定研修	7月20日	障がい者支援施設等感染防止対策支援事業業務継続計画 (BCP) 策定について
	8月2日	
セミナー	9月27日	ミスヘルパー請求システム/神奈川県域生活支援事業の入力の仕方について
	1月24日	セキュリティシステムについて
中小企業退職金共済制度説明会	1月25日	中小企業退職金共済制度について

5、 苦情・事故・ひやりはっと報告

(1) 苦情 0 件

(2) ひやりはっと 137 件

(3) 事故報告 102 件



6、 重点課題と目標

(1) 事故報告とひやりはっと報告の実行

総務内において、事故報告とひやりはっと報告を適切に行い、事故を未然に防いでいく。

(2) 労務の情報管理業務の精度向上

人事管理ソフトを有効活用し、職員の労務情報をより具体的で細やかに管理することが可能となったことで、業務の正確性と処理スピードの向上を図る。

(3) 安定した運営の実現

- ① 顧問社会保険労務士と連携し、労働条件の適正化や労務管理の改善など、事業の健全な発達を目指すとともに、雇用の安定、職場環境の改善、仕事と家庭の両立、職員の能力向上を図るため、雇用関係助成金を積極的に活用していく。
- ② 専門的なコンサルタントの助言と指導を受けながら、改定後の賃金制度の適正な運用と人事評価制度の精度向上を目指す。
- ③ 顧問会計事務所の助言や指導・経営アドバイス等を受けながら、公正な事業活動の更なる展開を目指す。
- ④ 事業所単位の自立的運営を目指して必要な人材の確保に努めるとともに、中堅職員の育成を強化する。
- ⑤ 給与ソフトと連動した就業管理ソフトを有効活用し、多様化している職員の勤務形態に対応した労務管理を効率的に行う。

(4) 請求事務

各事業所の請求事務担当者と連携し、月ごとの未収金管理が適切に行えるよう、引き続き管理を行う。また、収入においては経理との連携はもちろんのこと、入金管理を徹底し、事業所の担当者へ繋いでいく。

(5) リスク管理

問題が起きた時には、顧問社会保険労務士、弁護士との連携を図り、対処していく。

(6) 経費削減対策

消耗品等の削減はもとより、事務作業の効率化を法人全体で更に進めることによりコスト削減を図る。

(7) その他

各種規程・業務マニュアル等の整備、制定を進めて法人として組織統一を目指す。

7、総括

郵送処理を行っていた労務関係の事務を電子申請に切り替えたり、紙面で配布していた給与明細書を電子化してWEB公開にしたことで、事務処理の大幅な軽減、経費節約が出来た。

7月の非常勤職員退職後の人員補充が課題だったが、10月後半に補充出来た。他職員が分散して受け持っていた業務を新職員に引き継ぎ、他職員は本来業務に専念することが出来た。

茅ヶ崎支部

1、 内部会議・研修

会議・研修名	開催日	目的・内容
茅ヶ崎支部常勤会議(WE B)	5月11日 7月13日 9月14日 11月9日 1月11日 3月7日	情報共有、課題検討

2、 外部会議・研修

会議・研修名	開催日	目的・内容
放課後ネットかながわ事務局会議	4月17日	総会議案検討、意見交換、情報共有等
	5月15日	総会議案検討、意見交換、情報共有等
	6月18日	事業報告、事業計画等の承認など
	7月27日	情報共有等

平塚支部

1、 内部会議・研修

なし

2、 外部会議・研修

会議・研修名	開催日	目的・内容
湘南西地区施設長会	7月7日	神奈川県からの話、情報交換等
湘南東西地区施設長会	11月14日	研修、情報共有等
神奈川県施設長会	2月16日	報酬改定変更点確認等

あいあいクラブ(茅ヶ崎市萩園1602 2階)

1、実施事業

放課後等デイサービス

2、目的

児童福祉法に規定される放課後等デイサービス事業を実施する。利用者一人ひとりの目線に合わせた個別支援計画を作成し、それをもとに安全で楽しく過ごせる場所の提供と、集団生活や社会生活のスキルが向上できるよう、必要な支援を行う。

3、事業内容

送迎、身辺介助、創作活動、音楽活動、自由遊び、散歩、ドライブ、外出、プール遊び、等

(1)サービス提供地域…茅ヶ崎市

(2)対象…小学校～高等学校に在籍し、市町村より支給決定を受けた方

(3)開所日…月～土

(4)定休日…(日曜日・祝日・夏季休業日・年末年始休業日)

(5)サービス提供時間…月～金/学校下校時間～17:30 土曜日・長期学校休業日/9:30～16:30

(6)定員…10名

4、事業収入

	年間
開所日数	289
件数	2,563
障害福祉サービス収入(単位:千円)	28,953

5、利用者構成

(1)利用者数

定員10名、契約者26名(男性20名、女性6名)

(2)年齢構成

年齢 学年	7歳 小1	8歳 小2	9歳 小3	10歳 小4	11歳 小5	12歳 小6	計
男性	3	2	2	2	0	1	10
女性	0	0	0	1	1	0	2
計	3	2	2	3	1	1	12

年齢 学年	13歳 中1	14歳 中2	15歳 中3	16歳 高1	17歳 高2	18歳 高3	計
男性	2	2	4	2	0	0	10
女性	0	0	1	0	1	2	4
計	2	2	5	2	1	2	14

(3)手帳の内訳

等級	A1	A2	B1	B2	計		
療育手帳(神奈川県)	13	12	1	0	26		
等級	1級	2級	3級	計			
精神障害者保健福祉手帳	0	0	0	0			
等級	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計
身体障害者手帳	0	1	0	0	1	0	2

6、職員体制

常勤職員3名

(管理者1名(他兼務)、児童発達支援管理責任者1名、指導員1名(他兼務))

嘱託職員1名

(児童指導員)

非常勤職員6名

(児童指導員3名(他兼務含)、指導員2名(他兼務含)、ドライバー1名(他兼務含))

7、会議・研修

(1)内部会議

会議名	開催日	内容
定例会議	4月14日	日々の業務、利用者対応、支援の情報共有、検討など
	5月12日	
	6月9日	
	7月14日	
	9月8日	
	10月10日	
	11月10日	
	12月8日	
	1月12日	
	2月9日	
	3月1日	

(2)外部会議

会議名	開催日	内容
茅ヶ崎市寒川町障がい児者通所事業所連絡会	4月22日	会長・副会長・書記の引継ぎ
	5月15日	令和5年度の役員承認と情報共有など
利用者のケースカンファレンス	6月2日	長期入所利用者についての情報共有
ユースボランティア茅ヶ崎事前打ち合わせ	6月23日	ボランティア受け入れについての詳細確認や質疑応答など
	7月14日	今年度の会費支払い、情報共有など
茅ヶ崎市寒川町障がい児者通所事業所連絡会	9月15日	研修・説明会の検討、情報共有、市役所からのお知らせ
	11月7日	説明会の直前打ち合わせ、情報共有、市役所からのお知らせ
放課後等デイサービス・日中一時支援制度説明会	11月16日	放課後支援の利用を希望する保護者に対して、制度の説明を行う
利用者のケースカンファレンス	12月19日	長期入所利用者についての情報共有

会議名	開催日	内容
茅ヶ崎市寒川町障がい児者通所事業所連絡会	1月19日	11月制度説明会の振り返り・アンケート集計の報告、グループワークによる情報共有など
	3月12日	次年度の役員および活動内容について検討

(3)面談

面談名	開催日	内容
利用者面談	4月 17,22,24日	家庭、学校、放課後における利用者の様子について
	5月18,19日	
	6月6,12,16, 19,20,22 ,27日	
	7月4,6,11 日	
モニタリング	5月9日	利用者の様子についてモニタリング
	7月5,12,13 日	
	9月22日	
利用者面談	9月 11,12,15, 20,21,25, 26,28,29日	家庭、学校、放課後における利用者の様子について
	10月 6,17,21, 23日	
モニタリング	11月6日	放課後における利用者の様子について
利用者面談	11月8,13日	ご家庭・学校・放課後における利用者の様子について
	12月 4,6,11,12 ,14日	
	1月 15,18,19, 25,26日	
モニタリング	1月17日	放課後における利用者の様子について
利用者面談	2月 13,15,20, 27日	ご家庭・学校・放課後における利用者の様子について
モニタリング	3月1日	放課後における利用者の様子について
利用者面談	3月 5,6,7,11,12 日	ご家庭・学校・放課後における利用者の様子について

(4) 研修・説明会

研修名	開催日	内容
強度行動障がい基礎研修	4月 10,11,18,19, 20日	強度行動障がいについて学ぶ スマートキッズ(株)主催 強度行動障がいについて学ぶ (株)中川 東北カレッジ主催
摂食嚥下障害のある方への支援	5月26日	薬剤師の視点からの服薬支援について
埼玉県放課後等デイサービス連絡会主催研修	6月14日	保護者が求める放課後支援と保護者支援
業務継続計画BCP策定研修	7月20日	障がい者施設における感染症・自然災害の発生を想定したBCP策定のポイント
発達障がいスキルアップ研修入門編	8月2日	発達障がいの特性などについて
事例検討の会	10月18日	PCAGIPの事例検討手法を学ぶ
安全運転講習	10月31日	安全運転講習(適性検査・教習所内の走行)
発達障害支援者向け講座「困難な事例に対する支援の視点」	11月22日	発達障がいを主軸とした困難事例の支援を学ぶ
発達障がい研修	1月17日	アセスメントの必要性和ポイントを学ぶ
交通安全講習	2月16日	交通法規の順守と運転マナーの向上

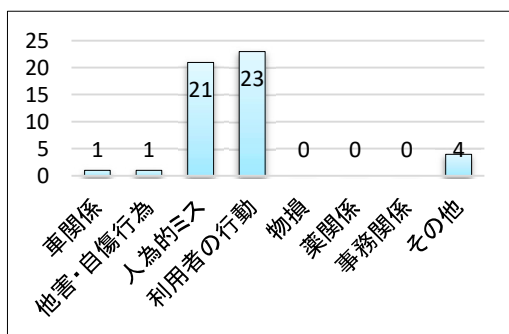
8、 行事

行事名	開催日	内容
避難訓練	6月9日	火災を想定した避難訓練
ユースボランティア茅ヶ崎オリエンテーション	7月8日	夏休みボランティアの受付
発達障害研修	9月6日	発達障がいについて理解を深める(中級編)
自立と社会参加のための性教育	9月22日	体の成長・変化を本人理解へと繋げていくために必要な配慮を学ぶ
避難訓練	10月16日	地震を想定した避難訓練
予防接種	11月15日	インフルエンザ予防接種
クリスマス会	12月25日	クリスマスの衣装や音楽などを通して季節感のある過ごし・おやつを楽しむ

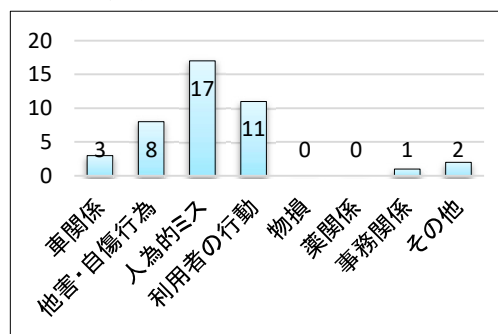
9、 苦情・事故・ひやりはつと報告

(1) 苦情 1 件

(2) ひやりはつと 50 件



(3) 事故報告 42 件



10、重点課題

- ① 異年齢集団での過ごしや他者との関わりを通じて、利用者の表現・発信する意欲を育み、個々における自律に向けた経験を積み重ねること。
- ② 面談や日々の情報共有を通してご家族との信頼関係を深め、各家庭での取り組みに必要な情報提供体制を継続すること。
- ③ 感染症の取り扱い緩和に合わせて、利用者が地域参加する機会を段階的に増やしていくこと。

11、目標

- ① 障がい特性や本人の様子(年齢や発達の状態)に合わせた支援を行うために、利用者個々の特徴を含め、職員間の情報共有および個別支援計画の理解を深める。
- ② 外出制限緩和に合わせて地域に出る機会を多く設けるなど、積極的に地域の施設利用を再開していく。
- ③ 相談支援事業所との連携により、利用者やご家族に合わせた放課後支援を行っていく。

12、総括

目標に挙げている「積極的に地域の施設利用」や重点課題の「地域参加する機会を段階的に増やす」ことは、外出制限緩和に合わせて、学校休業日に外出を取り入れた活動を増やしたことで達成できている。「ご家族との信頼関係」は、面談での情報共有の積み重ねによって良好な関係を維持できており、各家庭ごとに利用者のライフステージに合わせた支援の提供等も行っている。直接的な支援としては、事業所の基本姿勢として「利用者との関わり」を大切にしていることもあり「利用者の表現・発信する意欲の育み」ならびに「個々の自律に向けた取り組み」は日々積み重ねられている。

からんころん(茅ヶ崎市萩園2336-2)

1、実施事業

生活介護

2、目的

障害者総合支援法に規定される生活介護事業を実施する。利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立ち、自立した日常生活又は社会生活を営むために必要な支援を行う。

3、事業内容

食事及び排泄等の介助、創作的活動又は生産活動、外出、買い物練習、等

(1)サービス提供地域…茅ヶ崎市・その他

(2)対象…18才以上で市町村より支給決定を受けた方

(3)開所日…原則として月曜日～金曜日(事業所カレンダーによる)

(4)定休日…土曜日・日曜日(夏季休業・年末年始休業あり)

(5)サービス提供時間…月～金9:00～15:30

(6)定員…10名

4、事業収入

	年間
開所日数	252
件数	2,970
障害福祉サービス収入(単位:千円)	47,910
補助金事業収入(単位:千円) (障害者地域サポート事業)	2,762
就労支援事業収入(単位:千円)	47

5、利用者構成

(1)利用者数

定員10名、契約者17名(男性11名、女性6名)

(2)年齢構成

19～49歳、平均年齢26.1歳(男性27.5歳、女性23.3歳)

(3)手帳の内訳

等級	A1	A2	B1	B2	計			
療育手帳(神奈川県)	17	0	0	0	17			
等級	1級	2級	3級	計				
精神障害者保健福祉手帳	0	0	0	0				
等級	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計	
身体障害者手帳	1	4	0	0	1	1	7	

(4) 男女区分の内訳

区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
男性	0	0	0	1	5	5	11
女性	0	0	0	1	2	3	6
計	0	0	0	2	7	8	17

6、職員体制

常勤職員5名

(管理者1名、生活支援員4名(兼務含))

嘱託職員1名

(サービス管理責任者(他兼務))

非常勤職員15名

(看護師1名、生活支援員12名(他兼務含)、ドライバー2名)

7、会議・研修

(1) 内部会議

会議名	開催日	内容
個別支援検討会議	4月17日	支援内容及び連絡事項などの情報共有、ひやりはっと・事故報告の振り返り
	5月15日	
	6月19日	
	7月24日	
	8月21日	
	9月11日	
	10月16日	
	11月20日	
	12月18日	
	1月15日	
	2月19日	
	3月25日	

(2) 外部会議

会議名	開催日	内容
支援者担当会議(WEB)	4月13日	事業者間での情報共有
カンファレンス会議	10月25日	利用者の情報共有
茅ヶ崎市障害者連絡会	12月20日	研修会の内容検討・情報共有
担当者会議	2月29日	他事業所共有利用者の支援検討・情報交換
	3月11日	

(3) 面談

面談名	開催日	内容
アセスメント	7月6日	利用者について
	8月15日	
通所個別支援計画面談	10月1～20日	通所個別支援計画の見直し、振り返り
ご家族面談	12月6日	今後の生活支援について
後見人面談	1月23日	後見人と利用者の面談・情報共有
	2月29日	後見人と利用者の面談並びに情報交換

面談名	開催日	内容
通所個別支援計画面談	3月1～21日	通所個別支援計画の見直し、振り返り

(4) 研修・説明会

研修名	開催日	内容
令和5年度第1回神奈川県指定障がい福祉サービス事業者等指導講習会	6月14日	障がい福祉サービス等の適正な事業実施に向けて指導講習会
業務継続計画BCP策定研修	6月27日	障がい者施設における感染症・自然災害の発生を想定したBCP策定のポイント
事例検討会研修	7月19日	新しい事例検討法「パーソン・センタード・アプローチ(PCAGIP)をベースにした事例検討会
発達障がい研修	9月6日	発達障がいについて理解を深める(中級編)
安全運転講習	10月30日	安全運転講習(適性検査・教習所内の走行)
サービス管理責任者基礎研修	随時(11月)	ZOOMにて事前学習
知的障害のある方への生活支援	11月14日	知的障害のある方の生活について
発達障害支援者向け講座「困難な事例に対する支援の視点」	11月22日	発達障がいを主軸とした困難事例の支
サービス管理責任者基礎研修	11月6日	サービス管理責任者基礎研修
茅ヶ崎市障害者連絡会研修	1月14日	知的障がいのある方から本人会を立ち上げた時代の様子や今日まで本人会を通しながらどのように活動を続けてきたか
サービス管理責任者基礎研修	2月14日	サービス管理責任者基礎研修
交通安全講習	2月16日	交通法規の順守と運転マナーの向上

8、行事

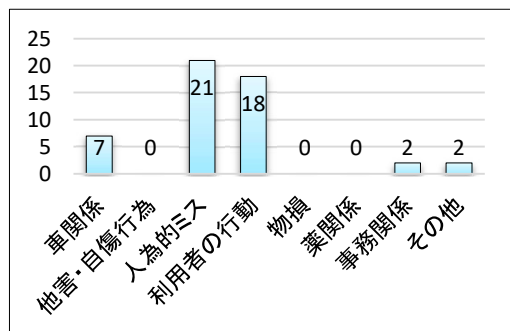
行事名	開催日	内容
誕生会	4月10日	利用者の誕生日を祝う
避難訓練	6月21日	火災を想定した避難訓練
ボウリング	7月3,14日	ボウリングを楽しむ
七夕祭り見学	7月7日	平塚七夕祭りの飾りを見て楽しむ
誕生会	7月17日	利用者の誕生日を祝う
夏祭り	8月15日	夏祭りの雰囲気を楽しむ(ゲーム・焼きそば)
ボウリング	9月13日	ボウリングを楽しむ
避難訓練	10月5日	地震を想定した避難訓練
ボウリング	10月16日	ボウリングを楽しむ
慰労外出	11月1日	宮ヶ瀬で秋を満喫するイベント
外出	11月9日	花菜ガーデン散策
予防接種	11月15日	インフルエンザ予防接種
ボウリング	12月6日	ボウリングを楽しむ
成人の祝い会	1月5,8日	新成人を祝う
節分、誕生日会	2月2,29日	節分行事を楽しむ、利用者の誕生日を祝う

行事名	開催日	内容
茅ヶ崎市立梅田小学校茅ヶ崎共生フェス	3月2日	茅ヶ崎市立梅田小学校イベントに参加 自主製品販売・くるみボタンのワークショップ

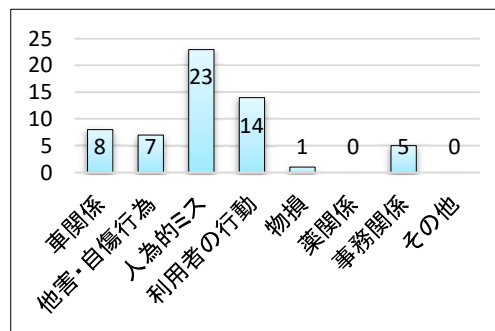
9、苦情・事故・ひやりはっと報告

(1) 苦情 1 件

(2) ひやりはっと 50 件



(3) 事故報告 58 件



10、重点課題

- ① 利用者の受け入れを積極的に行う。
- ② 職員同士の連携を図り、各関係機関と情報共有を行い支援方法を充実させる。
- ③ 職員が障がい特性を理解し、安定した支援を継続する。

11、目標

- ① 利用者の障がい特性を理解し、安定した利用に向け、幅広く支援内容を検討し、実施していく。
- ② 利用者、職員が健康で過ごし、体力維持・精神の安定を目指す。
- ③ 職員研修に積極的に参加し、職員のスキルアップにつなげていく。

12、総括

- ① 4月から閉所時間を30分早めて15時半に変更した。
- ② 新規利用者1名を12月から受け入れた。
- ③ 常勤職員へ積極的に研修への参加を促し、個別面談や各関係機関との会議にも同席し、実践を行った。
- ④ 8月にコロナ感染が拡大し、対応に追われた。初期の判断について再度確認をした。
- ⑤ 利用者の通所年数が長くなり、本人の状況や家族構成も変化している。ご家族・関係機関との連携を継続し、通所支援計画の内容の見直しを随時行っていかなければならない。

とむ郎(茅ヶ崎市香川4-21-12)

1、実施事業

共同生活援助

2、目的

障害者総合支援法に規定される共同生活援助事業を実施する。利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立ち、利用者が地域において共同して自立した日常生活または社会生活を営むために必要な支援を行う。

3、事業内容

送迎、身辺介助、食事及び排泄等の介助、風呂介助、余暇支援、相談、等

(1)サービス提供地域…茅ヶ崎市・その他

(2)対象…18才以上で市町村より支給決定を受けた方

(3)定員…6名

4、事業収入

	年間
開所日数	362
件数	1,856
障害福祉サービス収入(単位:千円)	22,658

※家賃補助は含んでいません

5、利用者構成

(1)利用者数

定員6名、契約者6名(男性6名、女性0名)

(2)年齢構成

28歳～49歳、平均年齢35.7歳(男性35.7歳、女性-歳)

(3)手帳の内訳

等級	A1	A2	B1	B2	計			
療育手帳(神奈川県)	4	2	0	0	6			
等級	1級	2級	3級	計				
精神障害者保健福祉手帳	0	0	0	0				
等級	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計	
身体障害者手帳	0	1	0	0	1	0	2	

(4)男女区分の内訳

区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
男性	0	0	0	1	2	3	6
女性	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	1	2	3	6

6、職員体制

常勤職員4名

(管理者1名、サービス管理責任者(他兼務)、生活支援員(他兼務含))

非常勤職員13名

(生活支援員6名、世話人7名(他兼務含))

7、会議・研修

(1)内部会議

会議名	開催日	内容
個別支援検討会議	4月24日 5月30日 6月29日 7月28日 9月26日 10月30日 11月29日 12月26日 1月26日 2月26日 3月28日	支援内容及び連絡事項などの情報共有、ひやりはっと・事故報告の振り返り
常勤会議	4月24日 5月30日 6月29日 7月28日 9月26日 10月30日 11月29日 12月26日 1月26日 2月26日 3月28日	支援内容及び連絡事項などの情報共有

(2)外部会議

会議名	開催日	内容
モニタリング会議	1月29日	利用者の様子を情報共有

(3)面談

面談名	開催日	内容
利用者面談	5月22日	利用者の様子確認
	6月16日	利用者の様子を情報共有
	7月20,21日	
	8月4日	
	9月25日	
	11月16日	利用者の様子確認
11月20日		

面談名	開催日	内容
利用者面談	1月18,26日	利用者の様子を情報共有
モニタリング会議	2月15日	
利用者面談	3月9日	利用者の様子伺い
後見人面談	3月20日	
契約更新面談	3月 8,12,13,14日	4月からの自己負担額変更に伴う契約書更新に関する説明

(4) 研修・説明会

研修名	開催日	内容
業務継続計画BCP策定研修	8月2日	障がい者施設における感染症・自然災害の発生を想定したBCP策定のポイント
安全運転講習	11月1日	安全運転講習(適性検査・教習所内の走行)

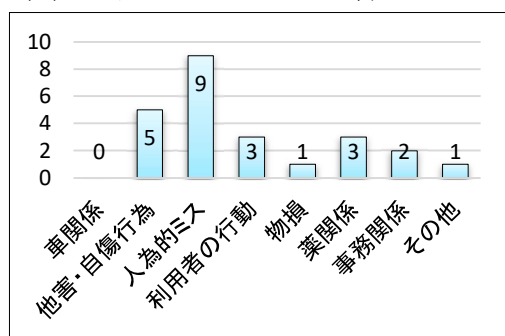
8、行事

行事名	開催日	内容
誕生日会	5月9日	利用者の誕生日をケーキでお祝いする
避難訓練	6月20日	火災を想定した避難訓練
誕生日会	7月10日 8月29日	利用者の誕生日をケーキでお祝いする
避難訓練	10月20日	地震を想定した避難訓練
誕生日会	10月23日 11月14日	利用者の誕生日をケーキでお祝いする
予防接種	11月15日	インフルエンザ予防接種
誕生日会	11月27日	利用者の誕生日をケーキでお祝いする
大掃除	12月16日	年末大掃除
クリスマス会	12月19日	ケーキを食べて楽しむ

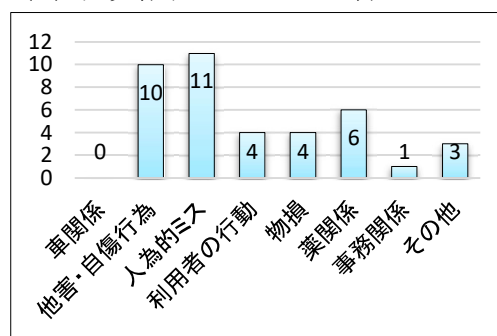
9、苦情・事故・ひやりはっと報告

(1) 苦情 1件

(2) ひやりはっと 24件



(3) 事故報告 39件



10、重点課題

- ① 支援職員が利用者の個性や意見を尊重して支援を行えるように、職員のスキル向上や体制を整える。
- ② 感染症対策や衛生面、環境面に配慮した安全なグループホーム作りをする。
- ③ 近隣の方たちや地域との関りを持ち、良好なグループホームの運営をしていく。

11、目標

- ① 利用者の方たちに安心、安全に過ごしていただくために、感染症対策を継続し、一人一人の特徴に配慮した支援を続けていく。
- ② 利用者家族や関係事業所との情報共有、連携を強くしていき、円滑な支援が行える環境を維持する。
- ③ 滞りなく運営していくために、支援体制を整えていく。

12、総括

- ① 1年を通しての利用状況について、事業所内でコロナ感染があり、一時的に利用が減ってしまった月もあったが、今まで毎週、週末に帰宅していた利用者が、とむ郎に泊まるようになったことで、少しずつ利用数が増えていった。
- ② 今年度は職員の定着があり、支援や事業を円滑に進めることができた。無理のない職員体制を今後も行っていきたい。
- ③ 地域との関りが未だあまりないので次年度は少しずつ地域の活動に参加していきたい。

モンキーポッド(茅ヶ崎市萩園1602 1階)

1、実施事業

茅ヶ崎市日中一時支援

2、目的

障害者総合支援法に規定されている、地域生活支援事業の日中一時支援事業を実施する。居宅において障がい者等の介護を行う者の就労、休息その他の理由により、一時的な通所が必要な障がい者等に対して、その活動の場を提供し、見守り、及び集団生活に適応するための支援を行う。

3、事業内容

送迎、身辺介助、余暇支援、等

(1)サービス提供地域…茅ヶ崎市

(2)対象…市町村より支給決定を受けた方

(3)開所日…月～土(土曜日は月に2回開所)

(4)定休日…日曜日・祝日(夏季休業・年末年始休業あり)

(5)サービス提供時間…月～金/通所施設等の利用後～18:00 土曜日/9:30～16:00

(6)定員…16名

4、事業収入

	年間
開所日数	266
件数	1,569
障害福祉サービス収入(単位:千円)	15,523

5、利用者構成

(1)利用者数

定員16名、契約者19名(男性11名、女性8名)

(2)年齢構成

19歳～33歳、平均年齢26.2歳(男性25.7歳、女性26.9歳)

(3)手帳の内訳

等級	A1	A2	B1	B2	計			
療育手帳(神奈川県)	16	2	0	1	19			
等級	1級	2級	3級	計				
精神障害者保健福祉手帳	0	1	0	1				
等級	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計	
身体障害者手帳	5	1	1	0	0	1	8	

6、職員体制

常勤職員5名

(管理者1名(他兼務)、支援員4名(他兼務))

非常勤職員7名

(支援員5名(他兼務含)、ドライバー2名(他兼務含))

7、会議・研修

(1)内部会議

会議名	開催日	内容
個別支援検討会議	4月12日	利用者支援・対応の振り返り、情報共有、検討、業務の伝達等
	5月10日	
	6月14日	
	7月12日	
	9月13日	
	10月11日	
	11月8日	
	12月6日	
	1月17日	
	2月14日	
	3月13日	

(2)外部会議

会議名	開催日	内容
茅ヶ崎市寒川町障がい児者通所事業所連絡会	7月14日	今年度の会費支払い、情報共有など
	9月15日	研修・説明会の検討、情報共有、市役所からのお知らせ
	11月7日	説明会の直前打ち合わせ、情報共有、市役所からのお知らせ
放課後デイサービス・日中一時支援制度説明会	11月16日	放課後支援の利用を希望する保護者に対して、制度の説明を行う
茅ヶ崎市寒川町障がい児者通所事業所連絡会	1月19日	11月制度説明会の振り返り・アンケート集計の報告、グループワークによる情報共有など
茅ヶ崎市寒川町障がい児者通所事業所連絡会/日中一時事業所会合	1月26日	要望書の内容検討
茅ヶ崎市寒川町障がい児者通所事業所連絡会	3月12日	次年度の役員および活動内容について検討

(3)面談

面談名	開催日	内容
モニタリング	6月12日	利用者の様子の聞き取り

(4)研修・説明会

研修名	開催日	内容
安全運転講習	10月31日	安全運転講習(適性検査・教習所内の走行)
交通安全講習	2月16日	交通法規の順守と運転マナーの向上

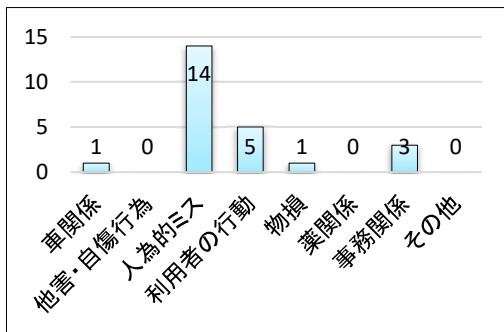
8、行事

行事名	開催日	内容
避難訓練	6月14日	火災を想定した避難訓練
	10月16日	地震を想定した避難訓練
予防接種	11月15日	インフルエンザ予防接種

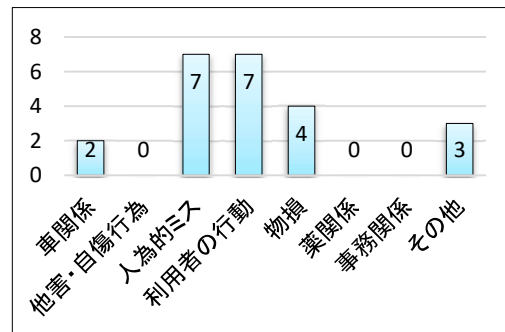
9、苦情・事故・ひやりはっと報告

(1) 苦情 2 件

(2) ひやりはっと 24 件



(3) 事故報告 23 件



10、重点課題

- ① 夕方支援の在り方を含め相談支援部門との連携を図り、各家庭のライフステージに合わせた福祉サービスの利用や地域の動向等の情報を発信すること。
- ② 兼務職員を中心とした支援体制となるが、安全な受け入れ環境を継続すること。
- ③ 既存の利用者の受け入れを維持できるよう、法人内での情報共有によって人員配置・応援職員の手配等を円滑に行うこと。

11、目標

- ① 日中活動の事業所との連携を図り、本人の活動場所の確保・ご家族のレスパイトとして行っていく。
- ② 既存の事務や準備作業の手順を見直し、効率化を目指す。

12、総括

主にトムトム相談室との連携になるが、障がい福祉に関する情報提供は行うことは出来た。既存利用者の受け入れ、ならびに土曜日の受け入れについても柔軟な対応で地域における日中一時支援事業の役割を維持できている。事務の分散や効率化という面については、兼務職員を中心として行っているために習熟に時間を要していることもあり継続的な課題となる。

ぶんぶん(平塚市南原2-4-5マインズビル1階)

1、実施事業

平塚市移動支援・パーソナルサービス(自費契約)

2、目的

個別の支援を通して、障がいのあるご本人および家族が、地域社会において、より良い生活が送れることを目的とする。

3、事業内容

直接支援～身体介護(食事、排泄、移乗、入浴等)、家事援助、移動支援、等

4、事業収入

(1)移動支援

	年間
サービス提供時間数	1,016
障害福祉サービス収入(単位:千円)	2,513

(2)パーソナルサービス(自由契約)

なし

5、利用者構成

定員:なし/契約者:34名(男性26名、女性8名)

6、職員体制

常勤職員1名(他兼務)

派遣職員1名(他兼務)

非常勤職員9名(他兼務含)

7、会議・研修

(1)内部会議

会議名	開催日	内容
個別支援検討会議	4月17日	情報共有 支援内容の検討 意見交換
	5月15日	
	6月15日	
	7月14日	
	9月22日	
	11月24日	
	1月19日	
	3月22日	

(2)外部会議

なし

(3)面談

なし

(4)研修・説明会

なし

8、行事

行事名	開催日	内容
予防接種	11月15日	インフルエンザ予防接種

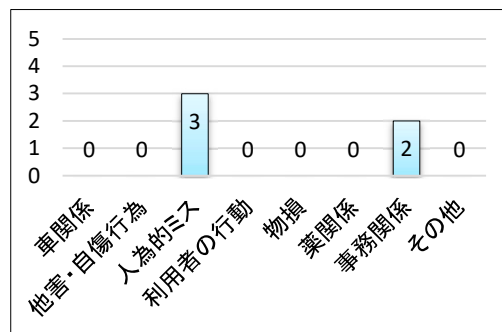
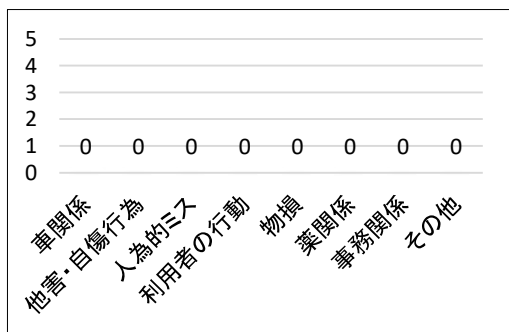
なし

9、苦情・事故・ひやりはっと報告

(1)苦情 0件

(2)ひやりはっと 0件

(3)事故報告 5件



10、重点課題

- ① 支援比率(利用者:職員)により、注意力不足(事故や物忘れ)に繋がっている。
- ② 新規利用や緊急利用の希望に応えられていない。
- ③ 請求システム更新に伴い、ダブルチェック体制を確保する。

11、目標

- ① 職員間での情報共有化を図り、意見交換出来る雰囲気づくりを大切に、事故を防ぐ。
- ② 人員の確保。
- ③ 当事業所の業務を、担当者と周りの部署職員がお互いに理解して、フォローを得られる体制を作る。

12、総括

職員間で情報共有を意識した伝達に努めて、お互いに協力し合える体制が確保出来た。また、人員不足の問題は他部署との連携が築かれた事で問題なく対応できた。

えぼハウ(平塚市御殿1-33-21)

1、実施事業

平塚市日中一時支援

2、目的

障害者総合支援法に規定されている、地域生活支援事業の日中一時支援事業を実施する。居宅において障がい者等の介護を行う者の就労、休息その他の理由により、一時的な通所が必要な障がい者等に対して、その活動の場を提供し、見守り、及び集団生活に適応するための支援を行う。

3、事業内容

送迎、身辺介助、余暇支援、等

(1)サービス提供地域…平塚市

(2)対象…市町村より支給決定を受けた方

(3)開所日…月～土

(4)定休日…日曜日・祝日(夏季休業・年末年始休業あり)

(5)サービス提供時間…月～金/通所施設等の利用後～18:00 土曜日/9:00～17:00

4、事業収入

	年間
開所日数	301
件数	1,335
障害福祉サービス収入(単位:千円)	9,633

5、利用者構成

(1)利用者数

定員なし/契約者22名(男性14名、女性8名)

(2)年齢構成

15～33歳、平均年齢24.7歳(男性24.9歳、女性24.4歳)

(3)手帳の内訳

等級	A1	A2	B1	B2	計		
療育手帳(神奈川県)	12	10	0	0	22		
等級	1級	2級	3級	計			
精神障害者保健福祉手帳	0	0	0	0			
等級	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計
身体障害者手帳	1	3	2	1	1	0	8

6、職員体制

常勤職員1名(他兼務)

派遣職員1名(他兼務)

非常勤職員9名(他兼務含)

7、会議・研修

(1)内部会議

会議名	開催日	内容
個別支援検討会議	4月17日	情報共有 支援内容の検討 意見交換
	5月15日	
	6月15日	
	7月14日	
	9月22日	
	11月24日	
	1月19日	
	3月22日	

(2)外部会議

なし

(3)面談

なし

(4)研修・説明会

なし

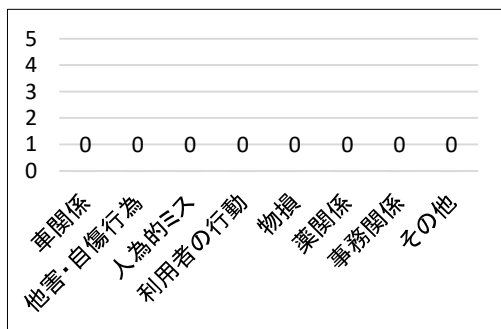
8、行事

行事名	開催日	内容
避難訓練	6月22日	火災を想定した避難訓練
	10月24日	地震を想定した避難訓練
予防接種	11月15日	インフルエンザ予防接種

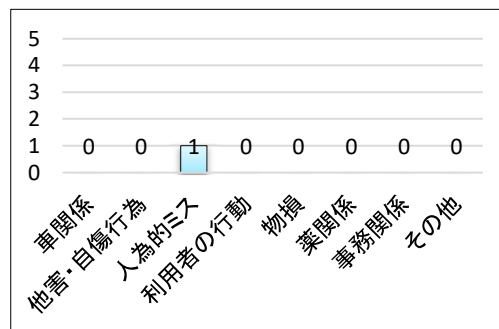
9、 苦情・事故・ひやりはっと報告

(1) 苦情 0 件

(2) ひやりはっと 0 件



(3) 事故報告 1 件



10、重点課題

- ① 職員の退職に伴い、支援担当者の確保。
- ② 支援職員が足りない日がある。
- ③ 請求システム更新に伴い、ダブルチェック体制を確保して請求ミスを防ぐ。

11、目標

- ① 人員の確保。
- ② 人員体制の工夫を行う。
- ③ 新請求システムへの操作手順を早期に習得する。

12、総括

他部署からの体制協力で利用者数と職員の調整が実施出来た。
イレギュラー支援対応も数件発生したが、心配した支援人員不足には至らなかった。
請求処理に関しては、ダブルチェック体制により請求ミスを抑止することが出来た。

ゆうゆうクラブ(平塚市御殿1-7-6)

1、実施事業

放課後等デイサービス

2、目的

児童福祉法に規定される放課後等デイサービス事業を実施する。利用者一人ひとりの目線に合わせた個別支援計画を作成し、それをもとに安全で楽しく過ごせる場所の提供と、集団生活や社会生活のスキルが向上できるよう、必要な支援を行う。

3、事業内容

送迎、身辺介助、創作活動、音楽活動、自由遊び、散歩、ドライブ、外出、プール遊び、おやつ作り、等

(1)サービス提供地域…平塚市・その他

(2)対象…小学校～高等学校に在籍し、市町村より支給決定を受けた方(主に中・高生)

(3)開所日…月～金

(4)定休日…土曜日・日曜日・祝日(夏季休業・年末年始休業あり)

(5)サービス提供時間…月～金/学校下校時間～17:00 長期学校休業日/9:30～17:00

(6)定員…10名

4、事業収入

	年間
開所日数	242
件数	2,694
障害福祉サービス収入(単位:千円)	28,808
補助金事業収入(単位:千円) (障害者地域サポート事業)	1,908

5、利用者構成

(1)利用者数

定員10名、契約者34名(男性23名、女性11名)

(2)年齢構成

年齢 学年	7歳 小1	8歳 小2	9歳 小3	10歳 小4	11歳 小5	12歳 小6	計
男性	0	0	0	0	0	0	0
女性	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0

年齢 学年	13歳 中1	14歳 中2	15歳 中3	16歳 高1	17歳 高2	18歳 高3	計
男性	2	6	4	1	4	6	23
女性	1	0	4	1	2	3	11
計	3	6	8	2	6	9	34

(3)手帳の内訳

等級	A1	A2	B1	B2	計		
療育手帳(神奈川県)	9	19	6	0	34		
等級	1級	2級	3級	計			
精神障害者保健福祉手帳	0	1	0	1			
等級	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計
身体障害者手帳	1	2	1	0	1	0	5

6、職員体制

常勤職員4名

(管理者・サービス管理責任者1名、児童指導員1名、指導員2名(他兼務含))

非常勤職員8名

(児童指導員3名(他兼務含)、指導員4名(他兼務含))

派遣職員1名

(ドライバー1名)

7、会議・研修

(1)内部会議

会議名	開催日	内容
個別支援検討会議	4月18日 5月16日 6月13日 7月11日 9月12日 10月10日 11月14日 12月12日 1月13日 2月13日 3月5日	ケース検討 情報の共有 連絡事項

(2)外部会議

会議名	開催日	内容
平塚支援学校事業所連絡会	5月25日	放課後支援事業所の連絡会
湘南支援学校プール説明会	5月31日	夏季のプール利用についての説明会
湘南支援学校事業所連絡会	12月11日	放課後支援事業所の連絡会
平塚支援学校事業所連絡会	1月22日	平塚支援学校の関係事業所の連絡会

(3)面談

面談名	開催日	内容
利用者面談	5月8～30日 6月5～29日	個別支援計画の作成、日々の様子聞き取り

面談名	開催日	内容
利用者面談	7月6,12日	個別支援計画の作成、日々の様子聞き取り
	10月4～31日	
	11月1～30日	
	12月6日	
	2月15,27,29日	新年度の新規利用者との契約

(4) 研修・説明会

研修名	開催日	内容
強度行動障がい基礎研修	4月8,15日	強度行動障がいについて学ぶスマートキッズ(株)主催
業務継続計画BCP策定研修	9月8日	障がい者施設における感染症・自然災害の発生を想定したBCP策定のポイント
安全運転講習	10月26,27日	安全運転講習(適性検査・教習所内の走行)
	11月6日	
交通安全講習	2月16日	交通法規の順守と運転マナーの向上
児童の応急手当てについて	2月20日	誤嚥、てんかん、熱中症等の応急手当てについて

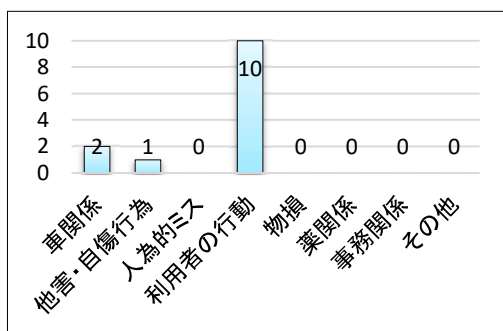
8、行事

行事名	開催日	内容
誕生日会	4月14日	利用者の誕生日をケーキでお祝いする
	5月21,26日	
避難訓練	6月6日	火災を想定した避難訓練
誕生日会	6月30日	利用者の誕生日をケーキでお祝いする
	7月26,28日	
夏祭り	8月4,7日	催し物をして屋台のおやつを食べる
湘南支援学校プール利用	8月27日	支援学校施設内プールを借りて活動を行う
誕生日会	9月27,28日	利用者の誕生日をケーキでお祝いする
避難訓練	10月16日	地震を想定した避難訓練
ハロウィンパーティー	10月30,31日	仮装姿の写真撮影、手作りケーキを楽しむ
予防接種	11月15日	インフルエンザ予防接種
誕生日会	11月9,14,27,30日	利用者の誕生日をケーキでお祝いする
クリスマス会	12月21,22日	プレゼントやケーキでクリスマスを楽しむ
お楽しみ昼食	12月28日	カレーとサラダを作り、みんなで食べる
節分	2月2日	仮装して豆まきをする
誕生日会	2月26,29日	利用者の誕生日をケーキでお祝いする
卒業遠足	3月15,16,21日	卒業生とのお楽しみ外出
卒業生を送る会	3月25,28日	卒業生とのお別れ会

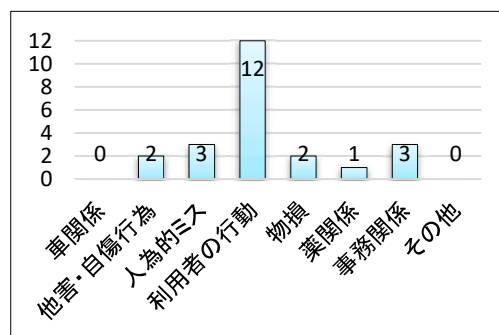
9、 苦情・事故・ひやりはっと報告

(1) 苦情 0 件

(2) ひやりはっと 13 件



(3) 事故報告 23 件



10、 重点課題

- ① 職員体制の確保及び育成を行いながら、効率的な現場運営が必要となっている。送迎体制に関しても、昨年度に引き続き強化を図りたい。
- ② 昨年度は、感染症による閉所や活動の縮小など、大きな影響を受けたため、今年度も日々の消毒換気を引き続き徹底し、利用者職員共に体調管理に努めていきたい。
- ③ 施設内の空調、建物設備や教材なども、細かな点検と修繕修理が必要となっている。

11、 目標

- ① 職員の支援力向上、活動内容の充実に繋がるような効果的な研修に積極的に参加していきたい。
- ② 施設用品や車両、活動教材などの定期的な修理点検を実施し、利用者職員が安全かつ安心して活動を行えるように環境を整えていく。
- ③ 送迎体制の強化により現場職員の運転への負担を軽減し、業務の効率化を図る。長期休暇も含めた柔軟な職員体制の確保により、活動の充実を目指す。

12、 総括

- ① 法人研修や支援会議、日々の打合せの中に研修を取り入れ、職員の支援力の向上を図った。学習した内容や共有した利用者情報を支援に生かして充実した活動を行えるようにした。
- ② 必要に応じて施設設備の改修を行い、快適な環境で活動ができるようにした。学校長期休暇中の活動に備え、空調設備などはエアコンを新設した。
- ③ 新規職員の採用、育成により送迎体制の強化を図った。学校長期休暇中や現場配置でのイレギュラーについては、法人内の職員相互のフォロー体制を確保し、柔軟な人員配置を心掛けた。

えぼっくハウス(平塚市南原2-4-5マインズビル1階)

1、実施事業

生活介護

2、目的

障害者総合支援法に規定される生活介護事業を実施する。利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立ち、自立した日常生活又は社会生活を営むために必要な支援を行う。

3、事業内容

食事及び排泄等の介助、創作的活動又は生産活動、外出、買い物練習、等

(1)サービス提供地域…平塚市・その他

(2)対象…18才以上で市町村より支給決定を受けた方

(3)開所日…原則として月曜日～金曜日(事業所カレンダーによる)

(4)定休日…土曜日・日曜日(夏季休業・年末年始休業あり)

(5)サービス提供時間…月～金9:00～16:00

(6)定員…20名

4、事業収入

	年間
開所日数	252
件数	5,171
障害福祉サービス収入(単位:千円)	82,115
補助金事業収入(単位:千円) (障害者地域サポート事業)	3,422
就労支援事業収入(単位:千円)	319

5、利用者構成

(1)利用者数

定員20名、契約者30名(男性19名、女性11名)

(2)年齢構成

19歳～33歳、平均年齢29.1歳(男性28.8歳、女性29.7歳)

(3)手帳の内訳

等級	A1	A2	B1	B2	計			
療育手帳(神奈川県)	24	6	0	0	30			
等級	1級	2級	3級	計				
精神障害者保健福祉手帳	0	0	0	0				
等級	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計	
身体障害者手帳	3	4	1	4	0	0	12	

(4) 男女区分の内訳

区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
男性	0	0	1	2	7	9	19
女性	0	0	0	1	6	4	11
計	0	0	1	3	13	13	30

6、職員体制

常勤職員6名

(管理者・サービス管理責任者1名、生活支援員5名(他兼務含))

非常勤職員15名

(看護師2名(他兼務含)、生活支援員12名(他兼務含)、ドライバー1名(他兼務))

派遣職員3名

(ドライバー3名)

7、会議・研修

(1) 内部会議

会議名	開催日	内容
個別支援検討会議	4月26日	支援検討、情報交換
	5月24日	
	6月28日	
	8月23日	
	9月27日	
	10月25日	
	11月22日	
	12月27日	
	1月24日	
	2月28日	
3月27日		
	7月26日	行動障がい事例集と改善テクニック動画視聴ケース会議

(2) 外部会議

会議名	開催日	内容
湘南支援学校実習打ち合わせ	4月26,27日	顔合わせ、実習概要の説明
生活介護部会情報交換会	3月1日	防災について、近況報告

(3) 面談

面談名	開催日	内容
内田クリニック医療相談	4月14日	コロナウイルス、インフルエンザ感染状況確認
サービス等利用計画作成モニタリング	6月21日	利用者の様子の聞き取り
内田クリニック医療相談	7月28日	平塚市のコロナ感染状況確認
	9月22日	インフルエンザ予防接種打ち合わせ
利用者個別面談	10月19～31日	個別支援計画の報告と見直し、家庭での様子確認
	11月1～17日	
	3月14～25日	個別支援計画の報告と見直し、家庭での様子確認

(4) 研修・説明会

研修名	開催日	内容
業務継続計画BCP策定研修	7月20日	障がい者施設における感染症・自然災害の発生を想定したBCP策定のポイント
安全運転講習	11月1,6日	安全運転講習(適性検査・教習所内の走行)
強度行動障がい支援者養成研修	1月25,26日	強度行動障がいの理解、特性の分析
交通安全講習	2月16日	交通法規の順守と運転マナーの向上

8、 行事

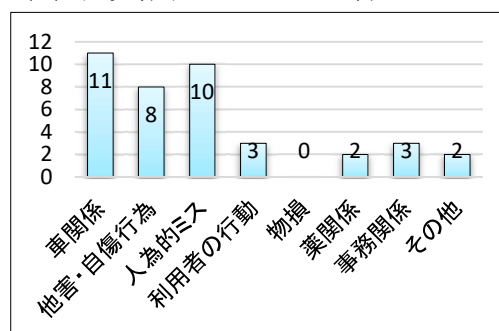
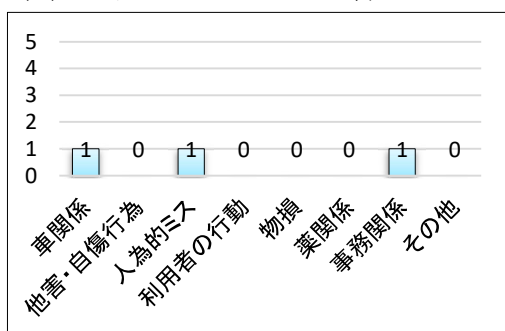
行事名	開催日	内容
花見	4月3,5日	花見、買い物
事業所合同説明会	5月24日	事業所説明
湘南支援学校実習	6月5～9,12～16日	利用を想定した現場実習
避難訓練	6月26日	火災を想定した避難訓練
七夕祭り見学	7月7日	平塚七夕祭りの飾りを見て楽しむ
えぼっくハウス見学	8月7,24日	事業の概要説明、活動の様子・施設見学
湘南支援学校3年生現場実習	9月11～15日	利用を想定した現場体験 作業・余暇活動の参加
魚釣り・つかみ取り大会	10月2,5日	川の釣り堀で魚釣りとつかみ取り
避難訓練	10月26日	地震を想定した避難訓練
プール外出	11月13日	流れるプールや外食で余暇を楽しむ
予防接種	11月15日	インフルエンザ予防接種
クリスマス会	12月25日	歌やダンス、ビンゴゲーム等でクリスマスを楽しむ
節分(豆まき)	2月5日	季節を感じるイベント、豆まき
ボウリング体験	2月16,21,22,26日	ボウリングを楽しむ
湘南支援学校3年生現場実習	2月13～16日	来年度利用に向けての体験実習

10、 苦情・事故・ひやりはっと報告

(1) 苦情 1 件

(2) ひやりはっと 3 件

(3) 事故報告 39 件



11、重点課題

- ① コロナウイルス感染対策と対応
マスクの着用や予防接種継続については、冷静な判断と見極めを検討する。発症、感染疑い、感染時の対応について検討する。
- ② コロナ禍で控えていた活動、イベントの再開。
- ③ 個別支援計画・アセスメントシートの充実と情報の共有。

12、目標

- ① コロナウイルス感染拡大を防ぎ、事業所の閉鎖を極力減らし、利用者、家族の負担を軽減する。事業所でのワクチン接種の実施(嘱託医との連携)。
- ② 初詣、花見、クリスマス、BBQ、外食、カラオケを実施。行事担当を決めて計画的に計画、実施をする。
- ③ 支援会議の開催。個別支援計画、アセスメントシートの見直しと情報共有。

13、総括

- ① コロナウイルス感染症に関しては、未だに治まる気配はなく、季節を問わずに、職員、利用者共に感染者が発生している。引き続き自宅待機期間等の対応に変わりがなく、感染が拡大した場合には、感染を警戒しての自主欠席も含めると、かなりの利用の減少につながる為引き続き警戒は必要と感じている。
ただ、必要以上に過敏になりすぎず、利用者・職員共にご家庭への負担を少しでも軽減できるよう、感染状況と家庭の負担のバランスを見て対応にあたっている。
- ② 活動に関しては、コロナ禍前の状態に戻しつつ、会議やイベントを再開している。

やなぎこんぶ(平塚市中原2-6-63)

1、実施事業

生活介護

2、目的

障害者総合支援法に規定される生活介護事業を実施する。利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立ち、自立した日常生活又は社会生活を営むために必要な支援を行う。

3、事業内容

食事及び排泄等の介助、創作的活動又は生産活動、外出、買い物練習、等

- (1)サービス提供地域…平塚市・その他
- (2)対象…18才以上で市町村より支給決定を受けた方
- (3)開所日…原則として月曜日～金曜日(事業所カレンダーによる)
- (4)定休日…土曜日・日曜日(夏季休業・年末年始休業あり)
- (5)サービス提供時間…月～金9:00～16:00
- (6)定員…20名

4、事業収入

	年間
開所日数	252
件数	1,844
障害福祉サービス収入(単位:千円)	30,117
補助金事業収入(単位:千円) (障害者地域サポート事業)	414

5、利用者構成

(1)利用者数

定員20名、契約者10名(男性7名、女性3名)

(2)年齢構成

21歳～31歳、平均年齢28.2歳(男性29.1歳、女性26歳)

(3)手帳の内訳

等級	A1	A2	B1	B2	計			
療育手帳(神奈川県)	6	4	0	0	10			
等級	1級	2級	3級	計				
精神障害者保健福祉手帳	0	0	0	0				
等級	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計	
身体障害者手帳	0	0	0	0	0	0	0	

(4) 男女区分の内訳

区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
男性	0	0	0	1	3	3	7
女性	0	0	0	0	2	1	3
計	0	0	0	1	5	4	10

6、職員体制

常勤職員2名

(管理者・サービス管理責任者1名、生活支援員1名(他兼務))

非常勤職員5名

(看護師2名(他兼務含)、生活支援員3名(他兼務含))

7、会議・研修

(1) 内部会議

会議名	開催日	内容
個別支援検討会議	4月26日	支援検討、情報交換
	5月24日	
	6月28日	
	8月23日	
	9月27日	
	10月25日	
	11月22日	
	12月27日	
	1月24日	
	2月28日	
3月27日		
	7月26日	行動障がい事例集と改善テクニック動画視聴ケース会議

(2) 外部会議

なし

(3) 面談

面談名	開催日	内容
利用者個別面談	10月30日	個別支援計画の報告と見直し、家庭での様子確認
	11月1日～10日	
	3月14,22日	

(4) 研修・説明会

研修名	開催日	内容
業務継続計画BCP策定研修	7月20日	障がい者施設における感染症・自然災害の発生を想定したBCP策定のポイント
安全運転講習	11月1,6日	安全運転講習(適性検査・教習所内の走行)

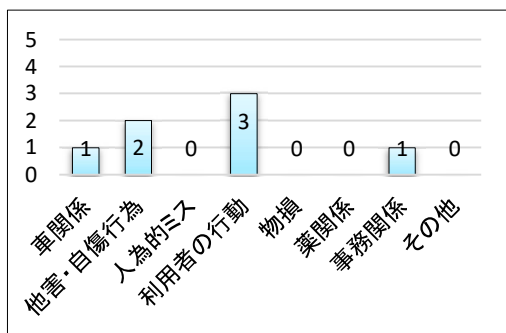
8、行事

行事名	開催日	内容
花見	4月3日	花見、買い物
事業所合同説明会	5月24日	事業所説明
避難訓練	6月28日	火災を想定した避難訓練
七夕祭り見学	7月7日	平塚七夕祭りの飾りを見て楽しむ
魚釣り・つかみ取り大会	10月2,5,6日	川の釣り堀で魚釣りとつかみ取り
避難訓練	10月25日	地震を想定した避難訓練
予防接種	11月15日	インフルエンザ予防接種
クリスマス会	12月25日	歌やダンス、ビンゴゲーム等でクリスマスを楽しむ
節分(豆まき)	2月5日	季節を感じるイベント、豆まき
ボウリング体験	2月16,22,26日	ボウリングを楽しむ

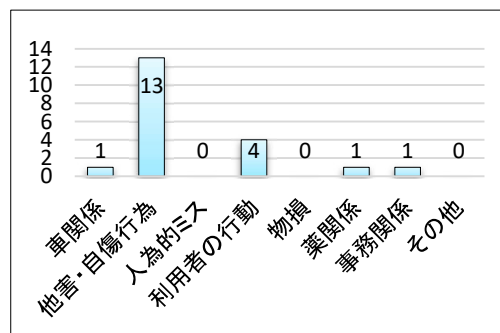
9、苦情・事故・ひやりはっと報告

(1) 苦情 0 件

(2) ひやりはっと 7 件



(3) 事故報告 20 件



10、重点課題

- ① コロナウイルス感染対策と対応
マスクの着用や予防接種継続については、冷静な判断と見極めを検討する。発症、感染疑い、感染時の対応について検討する。
- ② 新規利用者の確保
- ③ 個別支援計画・アセスメントシートの充実と情報の共有。

11、目標

- ① コロナウイルス感染拡大を防ぎ、事業所の閉鎖を極力減らし、利用者、家族の負担を軽減する。事業所でのワクチン接種の実施(嘱託医との連携)。
- ② 平塚市作業所連絡会主催の事業所説明会、見学会参加での事業所紹介、近隣支援学校との連携強化での新規利用者を開拓する。
- ③ 支援会議の開催。個別支援計画、アセスメントシートの見直しと情報共有。

12、総括

- ① コロナウイルス感染症については、未だに利用者、職員ともに感染が発生している。閉鎖するほどの状況ではないものの、感染者が出た事で、利用者では感染を警戒しての自主欠席者が数名出たことで、利用人数が減少した。感染症については、必要以上に過敏になりすぎず、活動の制限や待機期間後の利用の再開などしっかりと見極めて対応する必要がある。
- ② 支援学校からの実習生を受け入れ、今後に繋げている。
- ③ 年度の途中で新規利用者1名の登録があり、利用人数を維持する事が出来ている。

キャロット工房(平塚市西真土1-7-56)

1、実施事業

就労継続支援B型

2、目的

障害者総合支援法に規定される就労支援B型事業を実施する。利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立ち、就労に必要な知識及び能力向上のために必要な支援を行う。

3、事業内容

生産活動、外出、等

(1)サービス提供地域…平塚市・その他

(2)対象…18才以上で市町村より支給決定を受けた方

(3)開所日…原則として月曜日～金曜日(事業所カレンダーによる)

(4)定休日…土曜日・日曜日(夏季休業・年末年始休業あり)

(5)サービス提供時間…月～金9:00～16:00

(6)定員…20名

4、事業収入

	年間
開所日数	252
件数	5,117
障害福祉サービス収入(単位:千円)	36,813
就労支援事業収入(単位:千円)	9,492

5、利用者構成

(1)利用者数

定員20名、契約者26名(男性17名、女性9名)

(2)年齢構成

21～31歳、平均年齢25.2歳(男性25.8歳、女性24.2歳)

(3)手帳の内訳

等級	A1	A2	B1	B2	計		
療育手帳(神奈川県)	5	14	6	1	26		
等級	1級	2級	3級	計			
精神障害者保健福祉手帳	0	0	2	2			
等級	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計
身体障害者手帳	0	0	2	1	0	0	3

(4)男女区分の内訳

区分	区分なし	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
男性	2	0	0	1	12	2	0	17
女性	0	0	0	6	2	1	0	9
計	2	0	0	7	14	3	0	26

6、職員体制

常勤職員7名

(管理者1名、サービス管理責任者1名、職業指導員2名、生活支援員3名(他兼務含))

非常勤職員3名

(生活支援員3名(他兼務含))

7、会議・研修

(1)内部会議

会議名	開催日	内容
個別支援検討会議	4月11日 5月9日 6月13日 7月18日 8月8日 9月12日 10月10日 11月21日 12月12日 1月9日 2月13日 3月19日	支援検討、情報交換

(2)外部会議

会議名	開催日	内容
令和5年度日本基板ネットワーク総会	6月6日	年間活動について

(3)面談

面談名	開催日	内容
ご家族面談	5月 23,24,25,29, 30,31日 6月 1,6,7,8,12, 15,19,20,21, 22,27,29日 9月26日 10月 2,3,4,6,1 1,16,18, 20,23,24日 2月26日	個別支援計画について

面談名	開催日	内容
ご家族面談	3月 4,5,6,7,11, 13,21,22,26 ,28日	個別支援計画について

(4) 研修・説明会

研修名	開催日	内容
安全運転講習	10月26,27 日 11月6日	安全運転講習(適性検査・教習所内の走行)
合同福祉事業所説明会	2月28日	来年度受け入れについて
平塚市計画相談支援連絡 会主催研修	2月13日	地域生活支援拠点の整備について 令和5年度監査の重要項目からみた事業所運営 について 職員と利用者を守る体制整備と実践について
神奈川県サービス管理責任 者・児童発達支援責任者実 践研修	3月12,13日	神奈川県サービス管理責任者・児童発達支援責 任者実践研修

8、 行事

行事名	開催日	内容
パソコン寄付受け入れ	4月15日	湘南ベルマーレ公式戦前イベント
ハードディスク解体	4月28日	湘南工科大学へ出張解体
事業所合同説明会	5月24日	事業所説明
パソコン解体部品出荷	5月30日	アンカーリサイクルポートへ出荷
避難訓練	5月31日	火災を想定した避難訓練
実習面談	6月2日	実習打ち合わせ
実習反省会	6月9,16日	実習評価
パソコン寄付受け入れ	6月18日	湘南ベルマーレ公式戦前イベント
他事業者来訪	7月4日	パソコン解体見学(農業ステーション)
七夕を楽しむ	7月7日	短冊飾り
出張	7月24,25日	三井金属竹原精練所見学
見学会	7月26日	作業風景の見学と説明
他事業者来訪	7月26日	パソコン解体体験(農業ステーション)
見学会	8月16,22日	事業の説明、作業風景の見学
出張解体	9月5,6,8日	フェリス女学院
感謝を伝える会	9月19日	基板事業関係者の方に日頃の感謝の気持ち を伝える催し
静岡出張	9月19～21 日	パソコン解体技術の普及
第5回日本基板ネットワーク 全国大会(福島県)	9月28,29日	全国の基板ネットワーク加盟法人が集まり情 報共有、発表、交流
職場体験打ち合わせ	10月24日	職場体験について
職場実習	10月24～ 27日	キャロット工房で実習

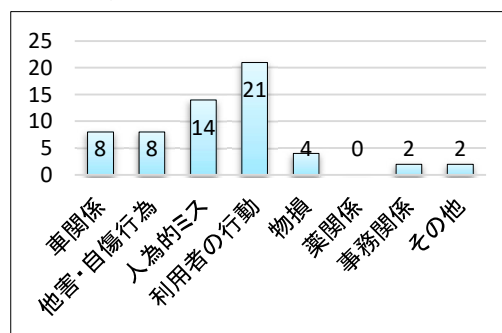
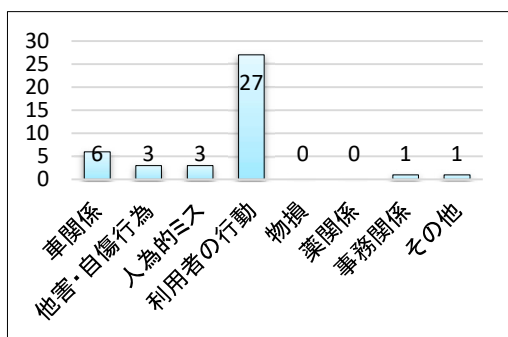
行事名	開催日	内容
避難訓練	10月25日	地震を想定した避難訓練
実習反省会	10月27日	実習の様子を伝える
出荷	10月30日	(株) 万年へパソコン部品出荷
慰労外出	11月1日	福祉バスともしび号で八景島シーパラダイスへ
予防接種	11月15日	インフルエンザ予防接種
基板事業見学者来訪	12月15日	作業風景見学
静岡出張	12月27日	基板事業説明
出張解体	1月26日	湘南工科大学

9、 苦情・事故・ひやりはっと報告

(1) 苦情 5 件

(2) ひやりはっと 41 件

(3) 事故報告 59 件



10、重点課題

- ① ヒヤリハット・事故報告の報告は多数上がってきているが、同じ内容の事柄が多く、改善に向けた取り組みが必要。
- ② 活動中の車両の使用が必要不可欠であるため、普段から車の整備、整備会社との連携、運転者の注意意識の維持が必要。
- ③ 夏場の暑さ対策。
- ④ 常に整理整頓を意識する。

11、目標

- ① 利用者の工賃アップ。
- ② スムーズな野菜配達と線剥離による銅の出荷、パソコン解体による基板の出荷率を上げる。
- ③ 誰もが安心して通える居場所作り。
- ④ 利用者のモチベーションを高めていく支援。

12、総括

- ① 利用者の作業内容を見直し、種類を減らしたことで作業全体の動きがスムーズになった。
- ② シンプル化した作業内容を繰り返し続けていくことにより出荷率が上がり、作業収益も上がった。そして利用者の工賃アップにもつながった。
- ③ 利用者が楽しみにしている慰労外出やバーベキューを3年振りに行うことができ、モチベーションアップにつながった。
- ④ 利用者メンバーが増えてきたことで、全体の雰囲気がにぎやかになり、利用者同士が良い関係づくりができている一方、相性の合わない関係もあり、一日の体制づくりや過ごし場の工夫が必要になってきた。

トムトム相談室(平塚市南原2-4-5マイズビル1階)

1、実施事業

計画相談支援・障害児相談支援

2、目的

サービス等利用計画についての相談及び作成などの支援を行うことにより、ハンディキャップのある方々及びご家族の自立した生活を支え、抱える課題の解決や適切なサービスを利用できるようにすることを目的とする。

3、事業内容

(1) 計画相談支援

① サービス利用支援

サービス等利用計画の作成など

② 継続サービス利用支援

モニタリングの実施、サービス等利用計画の見直し、変更など

(2) 障害児相談支援

① 障害児支援利用援助

障害児支援利用計画の作成など

② 継続障害児支援利用援助

モニタリングの実施、障害児支援継続利用計画の見直し、変更など

4、事業収入

(1) 計画相談支援

	年間
サービス利用支援件数	69
サービス継続支援件数	241
障害福祉サービス収入(単位:千円)	4,737

(2) 障害児相談支援

	年間
サービス利用支援件数	11
サービス継続支援件数	21
障害福祉サービス収入(単位:千円)	565

5、職員体制

常勤職員2名

(管理者1名(他兼務)、相談支援専門員1名)

6、 会議・研修

(1)内部会議

なし

(2)外部会議

会議名	開催日	内容
茅ヶ崎市相談支援事業所連絡会	5月16日	各地区ワーカーの紹介、新規事業所の紹介、情報交換
平塚市相談支援事業所連絡会	6月13日	グループスーパービジョンについて あんしんネットについて 医ケア児コーディネーターについて
茅ヶ崎市相談支援事業所連絡会	7月18日	法や制度、茅ヶ崎市ルールの共有、相談支援業務の中で感じている課題の共有
平塚市相談支援事業所連絡会	8月31日	グループスーパービジョンの手法を用いた事例検討
くれよん意見交換会	9月27日	サービス更新申請時期の検討、意見交換
平塚市計画相談支援連絡会	10月13日	グループスーパービジョンの手法を用いた事例検討
茅ヶ崎相談支援事業所連絡会	11月21日	茅ヶ崎支援学校との共有会 地域精神保健福祉連絡協議会の説明
平塚市計画相談支援連絡会	1月12日	基幹相談支援センター、地域生活支援拠点について、サービス等利用計画について
茅ヶ崎相談支援事業所連絡会	1月16日	基幹相談支援センターの活動報告、意見交換
平塚支援学校移行支援会議	2月14日	平塚支援学校を卒業する利用者の移行支援会議

(3)面談

面談名	件数	内容
利用者面談	342件	平塚市、二宮町、寒川町、茅ヶ崎市の利用者の面談

(4)研修・説明会

研修名	開催日	内容
平塚市計画相談支援連絡会主催研修	2月13日	地域生活支援拠点の整備について 令和5年度監査の重要項目からみた事業所運営について 職員と利用者を守る体制整備と実践について
神奈川県サービス管理責任者・児童発達支援責任者実践研修	3月12,13日	神奈川県サービス管理責任者・児童発達支援責任者実践研修

7、 行事

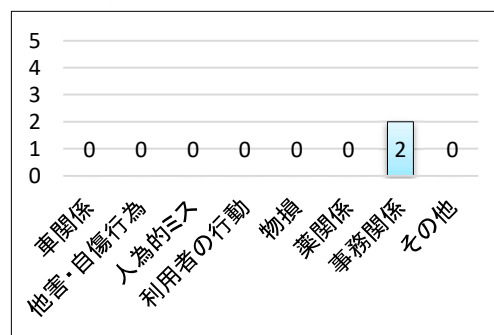
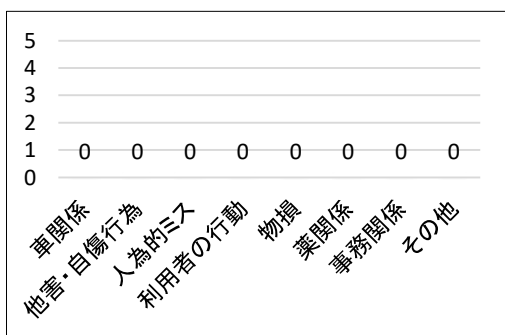
行事名	開催日	内容
予防接種	11月15日	インフルエンザ予防接種

8、 苦情・事故・ひやりはっと報告

(1) 苦情 0 件

(2) ひやりはっと 0 件

(3) 事故報告 2 件



9、 重点課題

<茅ヶ崎支部>

- ① 利用者のご家族が年々歳を重ねられる中、ご家族による支援が難しくなった時に備えてどのような具体的な対策を行っていくか。
- ② コロナウィルスの影響は続いており、対面での面談や事業所への訪問などにある程度の制限があった。正確にニーズを把握するため、できる限り対面でのやり取りを行う必要がある。
- ③ 連絡会や研修などに参加し、行政や他の関係機関との連携の強化を図る。

<平塚支部>

- ① 利用者のご家族が年々歳を重ねられる中、ご家族による支援が難しくなった時に備えてどのような具体的な対策を行っていくか。
- ② コロナウィルスの影響が続いており、利用者の希望する福祉サービスが使えないケースが増えている。この状況でどのようにニーズに応えていくか。
- ③ 相談員の職員体制の変更によって相談業務に支障がないよう、引継ぎなど円滑に行い体制を整えていく必要がある。

10、目標

<茅ヶ崎支部>

- ① 将来ご家族が支援ができなくなった時の不安の声が多い。グループホームをはじめニーズに合ったサービスを提供できるよう調整する。
- ② 事業所への訪問や利用者との面談にはまだ感染症のリスクが考えられる。感染対策は万全に行い、業務に支障がないよう十分に注意する。
- ③ 行政や関係機関との連携を密にし、多様化する利用者のニーズに応えられる体制を作る。

<平塚支部>

- ① 利用者のニーズに迅速に対応できるよう、社会資源の情報を日頃から集めていく。関係者との連携を密にし、情報を共有する。
- ② コロナウィルスの影響が続く中、訪問や面談に関しては感染のリスクが考えられる。必要性や優先順位を考慮し、状況に応じて対応を行っていく。
- ③ 意思表示が難しい方に対しても、できる限りご本人の気持ちを汲み取り、思いが反映された支援計画を作成する。

11、総括

<茅ヶ崎支部>

- ① 利用者の年齢が上がるにつれ、自宅での暮らしが厳しくなるケースが出てきた。グループホームへの入居は、障がい特性にもよるが、重度の方ほど受け入れが厳しい状況は変わらない。面談の際に、年齢が若い時から短期入所などを利用するよう促し、経験を積んでいくことの必要性をご家族・関係機関と共有していく。
- ② 法人内で対応ができないケースが多かった。行政または地域の基幹相談センター等との連携を強化していく。
- ③ 制度改正については研修などを通して情報収集していく。

<平塚支部>

- ① グループホームの体験や入居が増えている。ただ見学や体験をしてもサービスに満足できなかったり、入居してもトラブルがあるなど問題点も多い。共同生活援助(体験)のサービスも活用しながら利用者にあったホームを見つけていきたい。
- ② 移動支援の利用ニーズが高いがヘルパーが不足して対応できない状況が続いている。他の利用できるサービスも活用しながらの対応が必要である。
- ③ 感染症の影響はまだ残っており、特に入所施設での感染拡大が見られる。担当利用者では短期入所や日中一時支援が利用できなくなるなどの影響が出ている。
- ④ 令和6年1月に基幹相談支援センターが設立された。困難ケースの対応など必要に応じて連携をしていきたい。
- ⑤ 成人して新しい事業所の利用を開始する利用者が多い。生活環境が大きく変わるのでフォローが必要である。

特定非営利活動法人トムトム

別紙1: 令和5年度組織図



部長	総務部長	事業部長													
管理者		茅ヶ崎支部						平塚支部							
エリア															
事業所名	本部	茅ヶ崎市モンキーポッド	茅ヶ崎市あいあいクラブ	茅ヶ崎市からんころん	茅ヶ崎市とむ郎	茅ヶ崎市とむ郎	茅ヶ崎市とむ郎	平塚市 平塚市	平塚市	平塚市	平塚市	平塚市	平塚市		
サービス名	総務部 経理・労務・庶務	茅ヶ崎市日中一時支援	放課後等デイサービス	生活介護	共同生活援助	共同生活援助	共同生活援助	トムトム相談室 障害児相談支援	計画相談支援	就労継続支援B型	生活介護	生活介護	平塚市日中一時支援	平塚市移動支援	放課後等デイサービス
分室															
職員配置	非常勤 常勤	非常勤 常勤	非常勤 嘱託 常勤	非常勤 嘱託 常勤	非常勤 嘱託 常勤	非常勤 嘱託 常勤	非常勤 嘱託 常勤	常勤 非常勤	非常勤 常勤	非常勤 常勤	非常勤 常勤	非常勤 常勤	非常勤 常勤	非常勤 常勤	非常勤 常勤

職員:	
常勤	30名
嘱託	2名
非常勤	69名
アルバイト	1名
合計	102名
令和6年3月31日時点	